市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 11 - 1 (新規事業)
要綱上の事業名称	(23) 避難誘導機器整備事業
細要素事業名	津波浸水区域表示、避難所誘導表示及び避難所等表示標識設置事業
全体事業費	14,232 (千円)

【事業概要及び東日本大震災の被害との関係】

【事業概要】

東日本大震災津波により浸水し被災した地域において、避難誘導等の機器を設置することにより、実物大のハザードマップとして地域住民の避難の備えを促し、防災啓発を図ることができる。また、地域事情に不慣れな観光客等にも注意喚起が行え、有事の際には、避難行動を起こすきっかけに結びつき、さらに、東日本大震災の津波の記憶を風化させず、後世に伝える「しるべ」として整備する。

- ① 津波浸水区域表示標識設置 東日本大震災津波により浸水した地域において、津波浸水区域表示標識3カ所を整備する。
- ② 避難所誘導表示標識設置 津波避難所9カ所にそれぞれ避難誘導を行うために、避難誘導表示標識30カ 所を整備する。
- ③ 避難所等表示標識設置 津波避難所等9カ所に避難所表示標識を設置し、日頃から町民への周知徹底を 図るとともに、災害発生時の避難サインとして整備する。

【基幹事業との関連性】

区画整理事業等で整備された宅地に居住する住民及び低地部に立地する事業者等に対し、避難所、過去の津波浸水区域を周知するとともに、避難所まで誘導することにより、速やかな避難、避難の備え等を啓発し災害発生時の安全性を確保することで、 区画整理事業地等の防災力を向上させるものである。

※関連する基幹事業:D-17-6・7、9、11・12

【事業期間】

令和2年4月~令和2年12月

【当面の事業概要】

令和2年4月~令和2年12月

本工事費(津波浸水区域表示、避難所誘 導表示及び避難所表示標識設置)

14,232 千円 (今回協議額)

事業費合計

14,232 千円

[※] この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

^{※ 「}全体事業費」は、細要素事業(当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。) について、 全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

[※] 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 16 - 1 (新規事業)
要綱上の事業名称	(23) 避難誘導機器整備事業
細要素事業名	津波浸水区域表示、避難所誘導表示及び避難所等表示標識設置事業
全体事業費	17,849 (千円)

【事業概要及び東日本大震災の被害との関係】

【事業概要】

東日本大震災津波により浸水し被災した地域において、避難誘導等の機器を設置することにより、実物大のハザードマップとして地域住民の避難の備えを促し、防災啓発を図ることができる。また、地域事情に不慣れな観光客等にも注意喚起が行え、有事の際には、避難行動を起こすきっかけに結びつき、さらに、東日本大震災の津波の記憶を風化させず、後世に伝える「しるべ」として整備する。

- ① 津波浸水区域表示標識設置 東日本大震災津波により浸水した地域において、避難経路等に津波浸水区域表示標識7カ所を整備する。
- ② 避難所誘導表示標識設置 津波避難所8カ所にそれぞれ避難誘導を行うために、避難誘導表示標識46カ 所を整備する。
- ③ 避難所等表示標識設置 津波避難所等8カ所に避難所表示標識を設置し、日頃から町民への周知徹底を 図るとともに、災害発生時の避難サインとして整備する。

【基幹事業との関連性】

低地部を訪れる防集移転住民や観光客が、災害時に適切に避難できるよう、津波一時避難場所等を明示する看板を設置することで、防集移転住民等の災害に備えた安全 安心なまちづくりの推進に資するものである。

※関連する基幹事業: D-23-6~10

【事業期間】

令和2年4月~令和2年12月

【当面の事業概要】

令和2年4月~令和2年12月

本工事費(津波浸水区域表示、避難所誘 導表示及び避難所表示標識設置)

17,849 千円 (今回協議額)

事業費合計

17,849 千円

[※] この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

^{※ 「}全体事業費」は、細要素事業(当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。) について、 全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

[※] 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。